



2018年10月3日

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ

『キッズリープリント』が「2018年度グッドデザイン賞」を受賞

— 保育園と保護者のコミュニケーションサービス『キッズリー』で3年連続の受賞 —

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ（東京都品川区／代表取締役社長：山口 文洋）が提供する保育園と保護者をつなぐ、コミュニケーションサービス『キッズリー』の子どもの成長記録を冊子にするサービス『キッズリープリント』は、2018年度グッドデザイン賞（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）を受賞しましたのでご報告します。

■『キッズリーアプリ』、『キッズリー保育者ケア』に続き3年連続の受賞！



子どもの成長過程を冊子にすることができる『キッズリープリント』はこのたび公益財団法人日本デザイン振興会の主催する「2018年度グッドデザイン賞」を受賞しました。

保育園と保護者のコミュニケーションツールの『キッズリーアプリ』は、保護者と保育士で、子どもの様子をやりとりできる「連絡帳機能」や、保育園での子どもの日常を保育士が撮影し投稿できる「クラスフォト機能」を提供しています。2018年4月より提供を開始した『キッズリープリント』は、アプリに記録されたこれらの写真や成長記録を冊子にできるサービスです。連絡帳・クラス便りのデザインをベースにしつつ、データ量に応じてレイアウトが自動変形するため、子どもの成長をいつでも思い返せる世界に1つだけの冊子を製本することができます。

「グッドデザイン賞」は、様々に展開される事象の中から「よいデザイン」を選び、顕彰することを通じ、私たちの暮らしを、産業を、そして社会全体を、より豊かなものへと導くことを目的とした公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「総合的なデザインの推奨制度」です。

■審査委員コメント

『キッズリープリント』は、2016年にグッドデザイン特別賞を受賞した保育園と保護者のコミュニケーションアプリである『キッズリー』の新しいサービスです。園と保護者の日々のやり取りをアプリで効率化するという『キッズリー』の良さはそのままに、子供の大切な成長の記録を年齢に応じた適切なデザイン形式の冊子に製本するという、デジタルとアナログのバランスのよい融合を可能にしました。

■キッズリー 事業責任者 森脇 潤一のコメント



『キッズリープリント』では、子どもの写真だけではなく先生とのやりとりも冊子にすることで、成長の様子を日々の出来事と一緒に思い返すことができます。また、遠く離れている家族にも思い出として共有いただくことで、子育てにおけるコミュニケーションがより豊かになることを目指しています。今回の受賞を通じて、『キッズリープリント』のより一層の認知・利用拡大を目指すとともに、グッドデザインが目指す社会づくりにサービスとして貢献できるよう今後も努めてまいります。

■『キッズリー』とは

2015年のリクルートマーケティングパートナーズの新規事業コンテストでグランプリを受賞した『キッズリー』（<https://kidsly.jp/index.html>）は保育園（保育者）と保護者が協力しながら、より良い子育て環境を創るためのコミュニケーションサービスとして、2016年3月にアプリの提供を開始しました。また、アプリのほか職員の業務効率化や離職防止、職場活性化などをサポートする様々なサービスを保育現場に提供しています。保育者や職場のコンディションを可視化し、面談と組み合わせることで離職防止と職場活性化をサポートするサービス『キッズリー保育者ケア』は、2017年4月に提供を開始して以来、受診者は3,000人を越えています。

【本件に関するお問い合わせ先】
株式会社リクルートマーケティングパートナーズ
https://www.recruit-mp.co.jp/support/press_inquiry/

リクルートマーケティングパートナーズはこれからも、ひとりひとりにあった「まだ、ここにはない、出会い。」を届けることを目指していきます